

令和4年度 北九州市立徳力小学校学校経営方針

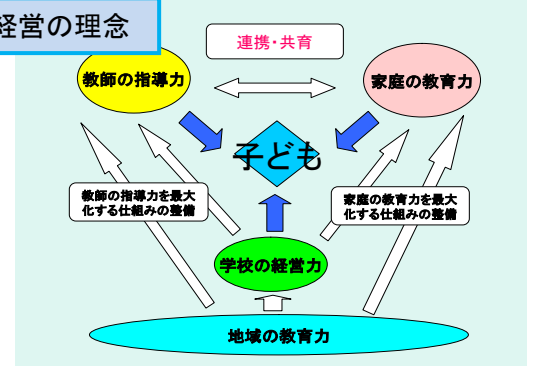
＜学校自己評価からとらえた主な教育課題＞

- ① 自分の考えを進んで言える児童の育成
- ② 自ら課題に取り組み、解決しようとする児童の育成
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 家庭学習との連携
- ⑤ 気持ちの良い挨拶ができる児童の育成
- ⑥ 自己肯定感、自尊感情の高揚
- ⑦ 学習規律の徹底

学校教育目標

心身ともに健全で
自ら学び実践力のある
児童の育成をめざす

学校経営の理念



目指す学校像

- 人権尊重を基盤にし、一人一人の健やかな育ちのために全職員が結集し、協働する学校
- 説明責任・結果責任を果たし、子どもや保護者、地域の方々から信頼される学校
- 安全・安心で、元気・活力のある学校

目指す子ども像

- 進んで学ぶ子ども（いきいき）
- 心豊かな子ども（にこにこ）
- たくましい子ども（もりもり）

目指す教職員像

- 子どもや保護者の願い・思いに真摯に応える教師
- 一人一人に愛情を注ぎ、子どもの良さと意欲、力を引き出す教師
- 1時間の学習指導を大切に、楽しくわかる授業づくりを行う教師
- 自覚・責任・意欲をもって業務を遂行する教師
- 実践的な研修により、企画力・実践力・指導力向上を図る教師
- 学校教育への信頼と理解・協力が得られるように、家庭や地域・関係機関と連携を密にする教師
- 服務規律を遵守する教師

3つの重点目標及び具体的な方策

1. 「いきいき・にこにこ・もりもり」を合言葉に日々の教育活動を展開し、教育目標の具現化を図る

2. 積極的な生徒指導の推進と一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

3. 保護者や地域との情報連携及び行動連携の推進

＜いきいき＞

確かな学力の育成

- ① 学習規律の徹底
- ② わかる授業の実践
- ③ スクールプランに基づく学力向上
 - ・まとめ、振り返りを「子ども自らの言葉」
 - ・発表モデルの活用
 - ・タブレット端末の活用
 - ・話し合い活動の充実・工夫
 - ・家庭学習の習慣づけ
- ④ 進路保障のための基礎学力の定着
 - ・パワーアップタイムの活用
 - ・ドリルアプリの活用
 - 個別最適な学びに向けて
- ⑤ 特別支援教育の推進
 - ・個に応じた指導の充実
 - ・一人一人を大切にされた教育
 - ・関係機関との連携
- ⑥ 朝学習の徹底
- ⑦ 読書・音読の習慣化
- ⑧ 学校図書館・学級図書の実用
- ⑨ 資質向上のための研修の充実
 - ・学力向上研修
 - 「学びの質を高める授業」づくり
 - 5つのポイントを4ステップで
 - ・若年研修の活用
 - 校内 OJT の活性化

＜にこにこ＞

豊かな心の育成

- ① 人権教育、平和教育の推進
 - ・「子どもつながりプログラム」の活用と自己肯定感の育成
 - ・「いいところみつけ」を通しての学校での居場所づくり
 - ・平和に関する指導及び平和集会の充実
- ② あいさつ運動の推進
- ③ DVD教材・新版いのち・北九州道徳郷土資料を活用した道徳の授業
- ④ たてわり活動の充実（たてわり遊び、なかよし集会）
- ⑤ 年長者とのふれあい活動の工夫（総合・生活科等）

＜もりもり＞

健やかな体の育成

- ① 体育科授業「パワーアッププログラム」を活用した授業
- ② スクールプランに基づく体力向上
 - ・縄跳びタイムの実施
- ③ 基本的生活習慣の定着（早寝・早起き・朝ごはん）
- ④ 健康教育・食育の推進
 - ・薬物乱用防止
 - ・性教育
 - ・生きた教材である給食を主とした指導
 - ・確実なアレルギー対応

① 危機管理体制・対応の徹底

- ・児童アンケート（学期に1回と教育相談の実施）
- ※いじめアンケート（市教委）
- ・特別な支援が必要な児童の個別支援ファイル作成と活用
- ・生徒指導部による情報共有
- ・防災教育の充実
- ・危機管理の「サシセソ」
- ・「一つ上」の対応
- 連絡帳→電話→家庭訪問
- ・「報告・連絡・相談」
- ・児童のけがについては必ず報告
- ② 関係機関及びSC、SSWとの連携（ケース会議の活用）
- ③ 教職員の協働体制の更なる充実→個々の指導力向上へ
- ④ 全職員と全児童の名札着用
- ⑤ 「とくりき小生活のきまり」についての共通理解と徹底
- ⑥ 中学校と連携した生徒指導

① 学校からの情報発信の強化

- （学校通信・学年通信・保健だより・給食だより、HP、メール配信など）
- ② 北九州市型コミュニティ・スクールの導入に向けて
- ③ 地域のよさを生かした総合的な学習の時間・生活科の学習活動の創造
- SDGsの視点での取組を
- ④ 広徳中・広徳小との連携
- ⑤ スクールヘルパー・生活安全パトロール隊と連携した安全指導や事件・事故防止に関する取組の充実
- ⑥ PTA・地域行事へ児童や教職員の参加促進
- ⑦ 地域と連携した人権教育
 - ・広徳中学校区人権教育推進協議会
 - ・徳力地域交流センター管内人権教育推進研究協議会

【学習規律の徹底】

- ① チャイム席の徹底
チャイムに始まり
チャイムに終わる
- ② 整理整頓
- ③ 忘れ物の対応
- ④ 友だちの発表、先生の指示を聞く
- ⑤ 学びあいのルール
- ⑥ 課題の提出

※ 学校・学年でそろえる。
隠れたカリキュラムを意識する。

◎徳力小学校の職員として

- ◆ 働き方は、自分で変えていく（ムダ・ムリ・ムラを無くしていく）
業務の効率化、データの共有促進
- ◆ 保護者や地域の方に対して誠実な対応に努める（来校者への温かいマナー）
- ◆ 外部からの電話等による児童の呼び出しや照会には原則として応じない。
（迷ったら管理職に代わる）
※電話の対応…「徳力小学校の〇〇です。」（説明責任と信頼関係）
- ◆ ワーク・ライフ・バランスの更なる推進
（仕事以外の時間の充実が、心身の健康管理へとつながり、よりよい仕事生まれる）